

九州地協情報

 2019年
 9月10日
No.56

九州地協 第28回定期委員会

JR連合九州地協（JR九州労組、JR西労組福岡地本、貨物鉄産労九州地区本部、JR九州バス労組）は、9月8日（日）、福岡市で第28回定期委員会を開催し、2019年度の活動方針を満場一致で決定。JRを代表する産別として、組織を挙げて積極果敢に運動を展開していくことを確認した。

委員会には、議長に鎗光委員（JR九州労組）を選出、九州地協を代表しあいさつに立った中原議長（JR九州労組中央執行委員長）は冒頭、8月に佐賀県・長崎県を中心に九州北部地方を襲った大雨により被災された方々にお見舞いを述べるとともに、①安全の確立にむけた取り組み、②組織強化・拡大・民主化闘争支援の取り組み、③政策課題解決の取り組み、④労働条件向上の取り組みの4点について所信表明を行い「JR連合九州地協に結集する加盟4単組が一丸となって、JRが果たす社会的役割と自覚を持って取り組んでいこう」と呼びかけた。



また、来賓として交運共済九州事業本部から福田九州事業本部長、JR連合から尾形事務局長にご臨席を賜り、それぞれ激励と連帯の挨拶を受けた。

議事では、2018年度の活動経過等をはじめ「JRの安全確立と信頼回復」「民主化闘争完遂にむけた取り組み」「組織のさらなる強化・拡大」「JRの発展に向けた政策課題実現」「労働条件の向上」「2020春季生活闘争の取り組み」等の2019年度活動方針（案）を満場一致で確認。最後に中原議長の力強い団結ガンバローで閉会した。なお、2019年度の新役員体制は以下のとおり。

役職名	氏名	出身単組	役職名	氏名	出身単組
議長	中原 博徳	JR九州労組	常任委員	田中 孝志	JR西労組
副議長	米村 弘隆	JR西労組	//	原 博之	貨物鉄産労
//	田代 済人	貨物鉄産労	//	濱田 敦史	JR九州バス労組
//	角当 智重	JR九州バス労組	会計監査	野口 茂	JR西労組
事務局長	宮路 享	JR九州労組	//	赤松 重幸	貨物鉄産労